

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区本町東4丁目7番20号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法及び身体障害者福祉法に規定する基本理念に基づき、デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成5年11月 延床面積 1,512.69㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階建</p> <p>④事業内容(定員30人) ・老人デイサービス事業 ・障害者デイサービス事業 ・生きがい活動支援通所事業</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 シナプス
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 11,300千円 令和3年度 11,300千円 令和4年度 11,300千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 7516人(前年度6994人) 1日平均利用者数24人 ・稼働率81.06%(前年度76.42%)</p> <p>◇業務実施状況 介護保険法における指定(介護予防)通所介護事業及び障害者総合支援法による生活介護(基準該当)事業を実施。利用者の稼働率については、新型コロナウイルス感染症も丸3年を経過したが、令和4年度も予断を許さない状況での運営が続いていた。その中で感染症対策では3年間での経験や知識を活かすことができ昨年度に続いて施設内クラスター発生することなく運営することができた。昨年度からは約500人増加の年間7516人を確保でき、年間利用者数ではコロナ前の状況に戻りつつあると実感することができ、上向き傾向で年度を閉める事ができた。</p> <p>②維持管理業務の状況 機械浴槽とエレベーターの経年劣化が課題となっているが、今年度も通常のメンテナンスで支障なくサービス提供ができた。節電に関しても、コロナ禍や社会情勢不安からの物価上昇の影響を受け目標達成には至らない1年だった。</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入76,950千円 (前年度69,415千円) ・指定管理料 11,300千円 (前年度11,300千円) ・その他 3,756千円 (前年度279千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費71,358千円 (前年度60,970千円) ・事務費1,692千円 (前年度1,486千円) ・施設管理費7,283千円 (前年度7,366千円) ・事業費10,880千円 (前年度10,391千円)
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	利用者からの意見・要望等への対応など特になし。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
地域に開かれた施設	昨年度に続き、コロナウイルス感染症対策として、本年度もボランティアや実習生の受け入れが出来ない状況であった。利用者の関係者やケアマネージャーについても事業所の立ち入りを極力少なくし、連絡事項は電話や手紙等で対応。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

例年の年2回の利用者アンケートの結果については、本年度は全項目で「大変満足」「満足」の回答が7割を超える事ができた。本年度についてはコロナ禍での影響もあり、数年前から施設の課題であったレクリエーション活動やリハビリ活動について再検討し、プログラム内容の見直しを図り改善することができた。改善点としては、感染症対策を取りながら施設内の環境を活かし、利用者が「歩く」をコンセプトに今まで以上にアクティビティに過ごすことを第一に考え、日々のプログラムを提供することができた。この点が昨年以上に利用者の満足度に繋がったと考えられる。

ここ数年はコロナ禍の影響を受け、与野本町デイサービスセンターとして新しい取り組みが出来ない状況が続いていたが、プログラム内容などを含め問題点が生じた場合に職員間での意見交換する機会を増やし職員一丸となってサービスの質の向上に繋げることが出来た点は成功体験として今後活かしていきたい。建物の維持管理に関しては定期的な保守点検に努め不具合については早期対応にて修繕してきたこともあり、令和4年度においては特記すべき不具合は発生していない。

(2) さいたま市の評価(評価担当課: 福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・新型コロナウイルス感染症がの影響下において、数年前から施設の課題であったレクリエーション活動やリハビリ活動について再検討し、プログラム内容の見直しを図り改善し本年度の利用者アンケートにおいては全項目で「大変満足」「満足」の回答が7割を超えていることを評価した。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。(水道光熱費の高騰による影響は除く。)

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルス感染症が流行する中での事業運営について、クラスター等発生することなく事業継続できた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。